



こんにちは！ 日本共産党の

# 大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2008年 8月22日 101

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona\_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

今年は13日に行いました

## JCO臨界事故で犠牲になられた大内久さんの墓参

1999年9月30日、突然おきたJCO臨界事故。「なぜJCOで臨界事故?」、驚きと同時に誰もがいただいた疑問でした。そして東海村民はもちろん、全国民が恐怖に陥れられたことは今なお、記憶に新しいことです。

2000年9月30日、県内の多くの団体や個人が集まって、「JCO臨界事故を忘れない、原子力事故をくりかえさせない9.30茨城集会」が開催されました。集会に先立ち、準備に関わった2つの女性団体の代表、私、日立の代表の方と4人で、事故の犠牲となられた大内さんと篠原さんの新盆参りをさせていただきました。苦しんでおられたご家族の方々の姿が、今でもまぶたにやきついています。

その後、毎年お盆には、お仏壇やお墓のお参りをさせていただき、9月には集会が開催されています。私は引き続き、事故の犠牲とすべての被害に心をよせ、みなさんと力あわせた集会の開催で「事故を繰り返させない」との世論を喚起しつつ、原子力の安全確保に力をつくす決意です。



なお、2001年の盆参りののち、篠原さんご家族は引越しをされたため、その翌年からのお参りは大内さんだけになっていることを加筆します。

## 大豊プラントは 一方的着工 やめよ！



## 議会建設経済環境委員会が 菜の花エコプロジェクト (洲本市)の視察に

(株)大豊プラントが、事業説明会の席上で、自ら約束した「質問への回答説明会」や、文書回答をおこなわないでいること、また、建設予定地内の建屋の一部解体を一方的に行ったことなど、住民の声を聞かずに強引に建設を進めようとしていることについては、すでにご報告させていただいたとおりです。

今回新たに、煙突の建築確認申請を行ったということを知りました。今、多くの住民のみなさんは「造られては困る」「県はなぜ、住民の気持ちを考えず、許可を出したのか」と、絶望感にみちた心境でいます。

このような時、業者のとるべき態度は、住民の理解を得る努力とそのための対応です。住民の感情と決裂したまま、押しかぶせるように一方的に工事を進めるなど、もともといい仕事ができる会社とは到底思えません。一方的着工はやめるべきです。



19日開かれた、建設経済環境委員会で、現在審査案件となっている「バイオマス推進基本法の制定を求める意見書提出」に関する調査の一環として、兵庫県洲本市の菜の花エコプロジェクトに関する行政視察を行うことが確認されました。

バイオマス推進に関しては、本村でも今年12月から、廃食用油の回収でバイオディーゼル燃料の製造が始められ、公用車の一部に利用される計画になっています。

また、それに先立ち、9月末から10月初旬頃には、村内の遊休農地に菜の花が作付けされ、来春の収穫と搾油、販売が計画されています。

事業の実効性と、基本法制定の是非について学ぶため、私も参加します。

バックナンバーは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku/toukai/ona/> でお読みいただけます



